

朝来市農業委員会委員の推薦及び応募の状況（最終公表）

【推薦の状況】 令和7年12月15日現在

受付番号	被推薦者（推薦を受けた者）							推薦者（推薦をする者）				
	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況・耕作面積	認定農業者等の該当・非該当	代表者氏名等 職業等	個人	団体・法人	農地利用最適化推進委員への推薦状況	推薦理由
									目的	構成員数等		
2	稻場 英行	男	63	団体職員	昭和55年3月1日～現在 ・朝来郡農業協同組合 (現 たじま農業協同組合)	水稻 7ha	非該当	山東町上ヶ町 区 区長 谷村 巧ほか 3名			無	農業に関する経験・知識が豊富であり、地区の農事部長を長く務めるなど、地域の農業振興に大いに寄与している。農業委員に適任であり推薦いたします。
3	平野 光啓	男	72	農業	昭和57年8月2日 フジッコ(株) 和田山工場 入社 平成30年2月28日〃 退社 平成30年3月 八鹿鉄工(株) 入社 令和元年12月〃 退社 令和2年4月 朝来市役所(会計 年度任用職員)任用 令和5年3月〃 退職	水稻 47a	非該当	市場区 区長 朝倉 広昭ほか1名			無	長年にわたり、市場区の区長、農事部長の職に就き区に貢献されている。農業委員に相応しい方です。
4	松原 慎吾	男	73	農業	令和4年12月～現在 山東町土地改良区理事 令和元年9月～現在 和田山町森林組合総代 令和7年4月～現在 和賀区 区長	水稻 小麦 8ha	非該当	栗鹿地域自治 協議会 会長 中島 義明ほか9名	地域活性化 事業	400人	無	地区の区長をされており、人々の人望も厚く、大面積の農業をされており、地域の農業の発展に貢献していただけると思い、地域を上げて推薦させていただきます。
5	篠岡 昌代	女	60	農業	平成2年～平成25年 木村眼科正職員 平成26年4月～平成28年3月 朝来農林振興事務所 森林林業 課 県政推進事務員 平成29年4月～現在 農業	水稻 4ha 畑 1.5ha	該当	和田山地区 区長会 会長 山本 正之ほか2名			無	女性ながら日々農作業に従事しております、地域の農業の発展に寄与している。 女性の農業委員が少ない中、農業委員としての活動実績もあり、引き続き適任者として考え、推薦をします。

6	小山 俊一	男	78	農業	(財法) 穀物検定協会 検定員 近畿酒造精米(株) 業務部長、取締役 平成 19 年 3 月 退職 全農パールライス(株) 管理副部長 諏訪区農事部長	水稻 81.5a 野菜 25a	非該当	諏訪区 区長 藤岡 達夫ほか 2 名				無	経歴の通り米等に関する仕事を経験されており農業に関することに精通しておられます。現在、区の農事部長として農業指導、農地の問題解決に尽力され、区民からも信頼が厚く相談等も親身になって受けおられます。 また、区以外の地区の田畠の状況も詳しく、責任感が強く何事にも熱心に取り組んで頂けますので適任と考え、農業委員に推薦します。
7	寺前 信龍	男	65	農業	令和 5 年 7 月～現在 朝来市農業委員	水稻 65a 畑 12a	非該当	生野町区長会会長 小田正儀 ほか 2 名				無	令和 7 年 10 月 6 日(火)生野町区長会定例会議において全員一致で農業委員に寺前信龍氏に引き続き地区担当として了承を頂きました旨、推薦いたします。
8	鶴森 丸美	女	70	自営業	令和 7 年 4 月～現在 JA女性会和田山ブロック会長 令和 5 年～現在 朝来市社会福祉協議会委員 令和 6 年～現在 朝来人権教育推進協議会理事 令和 7 年～現在 南但馬警察 警察署協議会委員		非該当	たじま農業協同組合和田山営農生活センター センタ一長 松尾 弥		農業経営の技術指導、農畜産物市場の情報提供等組合員のための活動	2700 人	無	鶴森丸美さんは、これまで多くの委員、役職を経験され、様々な分野で活躍されています。また JA女性会和田山ブロック(朝来市管内)の会長を務められており、非農家でありながら農業に関する識見を有され、地域の農家情報にも精通されています。農業委員として、中立的な立場から農業委員会の業務に貢献いただけると考え推薦いたします。
9	高本 知宜	男	51	会社社長	平成 20 年 3 月～現在 (有)高本農場 代表取締役 平成 24 年 3 月～現在 (株)兵庫大地の会 常務取締役 平成 24 年 4 月～現在 兵庫県農業法人協会 理事 平成 27 年 2 月～現在 (株)メルカート 取締役 平成 29 年 2 月～現在 朝来市認定農業者協議会 理事 平成 29 年 7 月～現在 朝来市農業委員会 委員 令和 4 年 4 月～現在 NPO 法人あさご創生プロジェクト 副理事長 令和 6 年 2 月～現在 兵庫県稻作経営者会議 会長	水稻 30ha 岩津ねぎ 1.5ha そば 3.3ha 水稻苗 18,000 枚	該当	久世田区 区長 中井 勝司				無	長年、農業委員を含め、多くの団体の役員を務め、農業に関する幅広い知識と高い見識を持ち、また、農業経営の実績が豊富である。地域の農業者として、規模拡大を行いながら、農地維持等精力的に活動していて、農業委員会業務に大きく貢献できる適任者である。

10	細見 和範	男	50	自営業	平成9年4月1日～平成23年12月3日 (株)中央エンジニアリング名古屋事業部 平成25年4月1日～現在 与布土ファーム代表	水稻 7.7ha	該当	与布土地域自治協議会 会長 奥 昭二	農地管理対策や人口減少など地域課題の克服に向けた取り組みや地域協働活動など	840人	無	地域計画に位置付けられた農業者として、地域の農業を担っており、専業農家の廃業に伴い発生する戻り農地の受け皿として積極的に作業受託を行うなど農地の遊休化や荒廃化の拡大防止に尽力している。 農業の効率化を図るため、自らも農業者として農地の利用集積や集約化に努めている。 農家の信頼も厚く、農家の事情や農家情報にも精通しており、農業委員会業務に貢献できると感じる。	
11	久 洋平	男	31	農業	令和元年9月 関西学院大学法学部政治学科 卒業 令和3年11月 久農園開業 令和5年～現在 朝来市農地利用最適化推進委員	露地野菜 1.2ha	該当	物部区 区長 山中 茂次			無	認定農業者として、農地を広げ、多くの野菜を生産販売している。将来の農業・農地のあり方を常に考えています。 令和5年農地利用最適化推進委員となりました。また、物部区の地域計画の策定にもかかわり尽力されました。このような経験を通して、農業政策に関する知識を深められました。 明るく穏やかな人柄で何事に対しても責任感があり、区民の信頼を得ています。 久氏は、地域農業の維持・発展に大いに貢献するものと確信していますので農業委員会委員に推薦します。	
12	北垣 利晃	男	65	団体職員	令和6年4月～現在 兵庫県道路公社 播但連絡道路管理事務所 令和7年4月～現在 羽渕区 区長	水稻 90a	非該当	老波区 区長 足立 哲夫			無	氏は市役所勤務時から深く農業に傾倒し、現在も勤めをしながら地区内の農業に従事できない高齢者等の農地を預り区内の農地の保全に尽力されている。	
13	吉井 忠大	男	51	農業会社経営	平成16年1月5日 個人事業から法人化 吉井建設有限会社を設立、代表者に就任、農業事業部を設置し、営農開始 平成28年3月31日 農業生産法人 株式会社三大を設立し、吉井建設(有)の農業事業部を閉鎖 代表者に就任 現在に至る	水稻 露地野菜 約 12ha	該当	西 好朗ほか 2名				無	・農地利用最適化推進委員を2期務めた。 ・東河地区の「地域計画」策定に検討委員の副代表として力を發揮した。 ・地元宮区の農事部長として地域の農業の維持、発展に貢献している。 ・朝来市の認定農業者として地域の農業への発展に努力している。

14	岡田 茂行	男	74	農業	昭和 46 年 農業に従事 昭和 46 年 4 月 和田山町役場勤務 平成 20 年 3 月 同上 退職 令和 5 年 4 月～現在 土田区農事部長	水稻 1.5ha	非該当	土田区 区長 森田 勉				無	被推薦人は長年農業に従事している。真面目な人物であり、強く推薦するものです。
15	鴨谷 康隆	男	41	兼業農家	令和 2 年 4 月～ 新規就農に認定新規就農として鴨葱農園をスタート	露地野菜 3ha	該当	元津区 区長 鴨谷 譲				無	農地利用最適化推進委員を務めた経験もあり、農業委員会委員に適任と考え、推薦します。

【応募状況】 令和 7 年 1 月 15 日現在

受付番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況 耕作面積	認定農業者等の該当・非該当	農地利用最適化推進委員への応募状況	応募理由			
1	中島 勝也	男	60	会社役員	令和 4 年 4 月 1 日～現在 ・和田区農事部長 令和 5 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日 ・和田営農組合 副会計 令和 7 年 4 月 1 日～現在 ・和田営農組合 会計 令和 5 年 7 月 20 日～現在 ・農地利用最適化推進委員（和田山第 1 区域） 令和 2 年 4 月 1 日（起業）～現在 ・（株）万大黒天 代表取締役 業種…スマート農業、他	露地野菜 10a	非該当	無	・農地利用最適化推進委員（和田山第 1 区域）を 3 年間務めさせて頂く中で、近隣地区の遊休農地が増え、幼き頃の田園風景が山林原野に戻りつつあることに非常にショックを受けると共に危機感を感じた。また、市内でも同様の状況であることを知り、どうにかしなければと強い思いが起きました。 特に、谷間山間部の遊休農地が年々増えつつあることから、有効活用されている地域の視察を行い市内に取り入れることができないか検討したい。 また、里山里地の遊休農地の草刈り等の呼び掛けによりクマ被害対策も進めたい。 ・和田営農組合（水稻 9ha 黒大豆 105a 栽培）米は美味しいが量が取れない。人材確保も厳しい。このような山間部の団体（非法人）をどのように守っていくか、また設備の老朽化に対してどのような補助金が利用できるか調査し同様の団体に提案して存続を呼び掛けたい。 ・本業とは別に和田山第 1 区域の奥地区（高生田・市場・和田・内海・竹ノ内）の遊休農地を利用し水稻栽培を再開させる団体の起業を進めている。栽培収穫時期が市内中心部と若干ずれることより人材・機械移動による共同作業スタイルを確立し市内に展開したいと考えている。			